

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 24 年 9 月 27 日 (2012.9.27)

【公開番号】特開 2011-121354 (P2011-121354A)
 【公開日】平成 23 年 6 月 23 日 (2011.6.23)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-025
 【出願番号】特願 2010-106622 (P2010-106622)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/165 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 N

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 24 年 8 月 15 日 (2012.8.15)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ノズルを持つインクジェット記録ヘッドでシートに記録を行う記録方法であって、
シートに対して第 1 の供給口から加湿空気を与える第 1 ステップと、
第 2 の供給口から前記ノズルが露出する空間に加湿空気を供給する第 2 ステップと、
 前記第 1 ステップで水分含有量が高められた前記シートの部位を、前記第 2 ステップで
 雰囲気湿度が高められた前記空間に進入させて、前記インクジェット記録ヘッドで記録を
 行う第 3 ステップと、
 を有することを特徴とする記録方法。

【請求項 2】

複数の前記インクジェット記録ヘッドが、シートが搬送される方向に沿って上流から下
 流に並べて保持され、

前記第 2 ステップでは、前記第 2 の供給口から供給された加湿空気の一部が、複数の前
 記記録ヘッドの前記ノズルと前記シートとの間を含む狭空間を前記上流から前記下流に向
 けて流れることを特徴とする、請求項 1 に記載の記録方法。

【請求項 3】

前記第 2 の供給口から供給された加湿空気の流速が、前記シートと前記ノズルとの間の
 隙間において 1 m / 秒以下とされることを特徴とする、請求項 2 に記載の記録方法。

【請求項 4】

前記第 1 の供給口から供給される加湿空気の絶対湿度は、前記第 2 の供給口から供給さ
 れる加湿空気の絶対湿度よりも高いことを特徴とする、請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に
 記載の記録方法。

【請求項 5】

前記第 1 ステップでは、前記加湿空気です平衡水分量になるまで前記シートを加湿するこ
 とを特徴とする、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の記録方法。

【請求項 6】

前記シートはロール状に巻かれた連続シートであり、該シートに前記第 1 の供給口から
 加湿空気を与えて前記水分含有量を高める前に前記シートのデカールを行うステップをさ

らに有することを特徴とする、請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の記録方法。

【請求項 7】

ノズルを備えたインクジェット記録ヘッドを含む記録手段と、
シートの記録を行う部位に対して記録を行う前に加湿空気を与えるための第 1 の供給口と、

前記ノズルが露出する空間に加湿空気を供給するための、前記第 1 の供給口よりも前記インクジェット記録ヘッドに近い側に設けられた第 2 の供給口と、
を有することを特徴とする記録装置。

【請求項 8】

前記記録手段では複数の前記インクジェット記録ヘッドが、前記シートが搬送される方向に沿って上流から下流に並べて保持され、

前記第 2 の供給口から供給された前記加湿空気の一部は、複数の前記記録ヘッドの前記ノズルと前記シートとの間を含む狭空間を前記上流から前記下流に向けて流れることを特徴とする、請求項 7 に記載の記録装置。

【請求項 9】

前記シートはロール状に巻かれた連続シートであり、前記第 1 の供給口よりも上流で前記シートのデカールを行うデカール手段が設けられていることを特徴とする、請求項 7 または 8 に記載の記録装置。

【請求項 10】

前記デカール手段はデカールの際に前記シートを加熱するためのヒータを備えることを特徴とする、請求項 9 に記載の記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の第 1 の形態は、ノズルを持つインクジェット記録ヘッドでシートに記録を行う記録方法であって、シートに対して第 1 の供給口から加湿空気を与える第 1 ステップと、第 2 の供給口から、ノズルが露出する空間に加湿空気を供給する第 2 ステップと、第 1 ステップで水分含有量が高められたシートの部位を、第 2 ステップで雰囲気湿度が高められた空間に進入させて、インクジェット記録ヘッドで記録を行う第 3 ステップと、を有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の第 2 の形態は、ノズルを備えたインクジェット記録ヘッドを含む記録手段と、シートの記録を行う部位に対して記録を行う前に加湿空気を与えるための第 1 の供給口と、ノズルが露出する空間に加湿空気を供給するための、第 1 の供給口よりもインクジェット記録ヘッドに近い側に設けられた第 2 の供給口と、を有することを特徴とする。